



発行所  
 神戸新聞社  
 神戸市中央区東川崎町  
 1-5-7  
 郵便番号 650-8571  
 振替口座 02-01190-7-20  
 ©神戸新聞社 2002年

正平調

これがW杯の底力なのか。神戸の街に笑顔があふれている。外国の人たちや元気なファッションの若者が行き交い、市民ボランティアが奔走する◆震災後遺症に不景気が重なった神戸にとって、笑顔は最高の薬だ。昨年からの神戸で笑顔の写真を撮影してきたグラフィック・デザイナーの水谷孝次さんが、W杯開催に合わせて「Merry in KOBE」(神戸新聞総合出版センター)という写真集を出した。ヒマワリ畑やスタジアムで弾けた笑顔が並ぶ◆「メリー・プロジェクト」と名づけて、水谷さんは世界六都市で笑顔を追ってきた。震災の痛手から懸命に立ち上がるようにしていた神戸も強く彼の心をとらえた。写真集には生後八カ月の赤ちゃんから九十七歳のおばあちゃんまで、

神戸の「元氣印」が勢揃いしている◆ジャーナリストの筑紫哲也さんは震災後の神戸で見かけた元気な少年に希望を感じたという。「この国は不当に暗くなりすぎている」と写真集に一文を寄せた筑紫さんは、未来を開く笑顔を期待する。そんな飛びつきの笑顔がいま神戸にある◆その主な発信源は、ボランティアの人たちだ。神戸市のワールドカップ推進室に登録した人だけでも六百人。もっと多くの市民が通訳や介助などを自主的に買って出た。NPO(民間非営利団体)の「神戸アスリートタウンクラブ」など市民組織も裏方を支えている◆須磨区の東田せつ子さんは介助ボランティア。「震災で世界に助けられた恩返しをしたい」。震災とW杯を笑顔が つないでいる。